

首都圏中央連絡自動車道（大栄ＪＣＴ～松尾横芝ＩＣ）連絡調整会議（第３回） 議事概要

1. 日時

令和７年１月２４日（金） １１時から１２時

2. 出席者

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所長 藤井 和久

千葉県 県土整備部 道路計画課長 横田 彰洋

東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所長 松原 仁

3. 議事

（１）現在の進捗状況について

（２）課題及び今後の開通見込みについて

（３）インターチェンジ名称の決定について

4. 議事概要

○現在の進捗状況について

- ・用地取得率は100%。
- ・全線において、用地取得が完了し、各自治体の協力のもと、支障物移設、未発注工事の契約手続きを進めつつ、工事を実施中。
- ・芝山トンネルは、令和6年2月28日に掘削が完了（貫通）し、覆工コンクリートなどを施工中。
- ・入札不調が発生していた機能補償道路工事（跨道橋）においては、工事を実施中。

○課題及び今後の開通見込みについて

- ・用地未取得箇所、芝山トンネルの掘削、重金属の対応及び機能補償道路工事（跨道橋）の入札不調などの課題の解決が図られてきており、引き続き大栄ジャンクション～松尾横芝インターチェンジ間は令和8年度までの開通を目指す。
- ・なお、大栄ジャンクションから多古インターチェンジ間は、土の性状による盛土の作業能力低下等の課題はあるものの、改良ヤードや改良機の追加確保を行い、工程への影響を確認しながら、引き続き、1年程度前倒しを目指し工事を進めていく。

○インターチェンジ名称の決定について

- ・インターチェンジの名称は、千葉県内の道路管理者等で組織する道路標識適正化委員会の意見を踏まえ決定された名称原案をもとに、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構による所定の手続きを経て、「圏央成田（けんおうなりた）インターチェンジ」、「多古（たこ）インターチェンジ」に決定した。

○その他

- ・沿線地域では、開通を見越し、新たな開発が計画されるなど、県民や県内の経済団体などから開通に対する期待が大きい。
ついては、開通見込みの確実な達成に向け、引き続き、関係者間で協力するとともに、開通見込みに関わる新たな課題等が発生した場合、速やかに情報共有を図る。